

事業番号	06 01 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境審査事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課		
		実施期間	S59 ~	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献						

1 現状と課題

- ・環境影響評価図書において、事業特性や地域特性が十分反映されていないことから、環境影響評価手続における事業者と地域との円滑なコミュニケーションの支障となる場合がある。
- ・環境影響評価書の公告を終えて、事業に着手した案件が増加していることから、環境影響評価の結果等が適切に事業に反映されていることを確認する必要がある。

2 事業目的

環境影響評価手続を通じ、大規模開発事業を行う事業者の環境保全への適正な配慮を推進し、もって本県の豊かな環境の保全に資する。

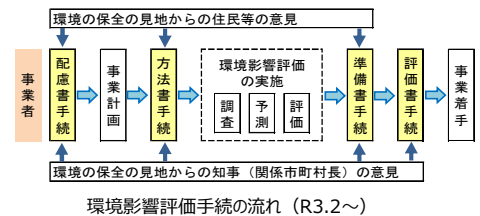
3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①環境影響評価図書の審査

・事業者から提出される環境影響評価図書について、内容を十分に審査するとともに、県環境影響評価技術委員会等からの意見聴取を行う。

②リニア中央新幹線関連事業に対する助言

・リニア中央新幹線に係る環境調査並びにトンネル工事及び発生土置き場における環境保全等について、県環境影響評価技術委員会委員等の意見をもとに、環境保全のための助言を通知する。



4 成果指標

（推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	指標なし										
②											
③											
④											
⑤											

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	0	7,200	0	7,200	7,194	5,061	3.0
R3年度	0	7,236	0	7,236	7,236	4,529	3.0
R2年度	0	7,517	△ 9	7,508	7,508	4,525	3.0

事業番号	06 01 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境審査事業費		部局	環境部	課・室	環境政策課

6 主な取組実績と成果

①環境影響評価図書の審査

・環境影響評価準備書1件（FSPS佐久市八風太陽光発電所事業）について、内容を十分に審査するとともに、県環境影響評価技術委員会等の意見をもとに、環境保全のための知事意見を通知した。この意見を受け事業者が提出した環境影響評価書により、事業による環境影響が更に低減可能となった。

・環境影響評価方法書2件（上田地域広域連合資源循環型施設整備事業及び松塩地区広域施設組合新ごみ処理施設整備）について、現地調査を実施するとともに、県環境影響評価技術委員会委員等の意見をもとに、環境保全のための意見を通知した。



（環境影響評価技術委員会）

②リニア中央新幹線関連事業に対する助言

・リニア中央新幹線に係るトンネル工事、橋りょう工事、発生土置き場等における環境保全の計画書4件及び令和3年度の環境調査の結果について、県環境影響評価技術委員会委員等の意見をもとに、環境保全のための助言を通知した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	指標なし	R3年度推移	R4年度推移	達成状況
指標②		R3年度推移	R4年度推移	達成状況
指標③		R3年度推移	R4年度推移	達成状況
指標④		R3年度推移	R4年度推移	達成状況
指標⑤		R3年度推移	R4年度推移	達成状況

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・太陽光発電所事業の環境影響評価手続が終了し、環境保全のための意見として事業着手後も引き続き地域住民との意思疎通に努めるよう求めたことから、事業に着手しているその他案件を含め、今後、事業実施の完了まで、環境保全措置や事後調査に関する報告書等の審査により、環境影響評価の結果等が適切に事業に反映されていることを確認していく必要がある。

・リニア中央新幹線について、今後、県が通知した環境保全のための助言への対応方針の確認や、毎年取りまとめられる環境調査結果の審査等により、助言を踏まえて事業が実施されていることを確認していく必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

・環境影響評価の結果や県の助言等の事業への適切な反映について、環境保全措置や事後調査に関する報告書等を精査するとともに、環境影響評価技術委員会において報告書の内容等について議論し、必要に応じて事業者に追加の環境保全措置を求めていく。

事業番号 06 01 03 **細事業一覧（令和4年度実施事業分）** 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	環境審査事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	環境審査事業費	4,525 千円	4,529 千円	5,061 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	環境影響評価技術委員会の運営	直接	<p>環境影響評価技術委員会及び現地調査を開催し、環境影響評価図書について専門的・技術的な見地から審査を行うとともに、環境への影響を最大限回避・低減するよう事業者に求めることにより、大規模開発事業の環境配慮を推進した。</p> <p>環境影響評価技術委員会の開催9回、現地調査6回</p>
2	影響評価委員の配置	直接	<p>環境影響評価技術委員会の運営等の事務補助のため、会計年度任用職員を配置した。</p> <p>会計年度任用職員の配置 1名</p>